

令和6年度 第14回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和7年3月19日(水) 19:00開始
2. 場 所 ZoomによるWeb会議
3. 出席者 理事18名中18名、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、
近藤 聡史、安西 浩哉、埴岡 隆、高瀬 美保、久保 克敏、
桜木 由美子、小野 真由美、福島 雄裕、西田 美和子、小林 和典、
箸本 明雄(途中参加)、奥田 竜子(途中参加)、柿田 亜矢子(途中参加)、
安枝 和子(途中参加)

(監事) 花野 信子、清水 美音子(途中退出)

なお、安枝 和子理事は「審議事項 ⑥第六号議案 AMOS社とのスポンサーシップ契約の締結の件」から審議に参加した。また、清水 美音子監事は、協議事項の後に退出したため、報告事項以降については参加しなかった。

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名中14名が出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、坂本事務局長、吉満事務局次長、鈴木事務局次長、内山事務局員の出席の案内があった。

(2) Zoomでの出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 登録規程の改定の件

近藤事業本部長から、高校生以下のチームスタッフ（マネージャー）の個人登録料とHJL選手の二重登録防止に関する規定改正および改正によるプラス要素とマイナス要素、留意事項について、配付されている資料および画面投影された資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

② 第二号議案 U12/15 未来プロジェクトの設置の件

永井強化育成本部長から、U12/U15 カテゴリーの普及・強化・競技に関する現状のシステムを、より効果的なものへと改変するためのU12/15未来プロジェクトの設置、構成員について、配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

③ 第三号議案 令和6年度決算見込みの件

福島財務総括部長から、令和6年度決算見込みについて、収入額が増えた項目を中心に、配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

④ 第四号議案 令和7年度当初予算案の件

福島財務総括部長から、令和7年度当初収支予算案について、新規追加事項や令和6年度予算との差異事項および資金調達計画案（資金繰り）について、配付された資料に基づき説明があった。

これに関して永井理事から、現時点で助成金等の未確定の収入は確定した段階で早めに連絡が欲しいとの要望があった。また、北野副会長から借入金の返済と公益法人の収支相償との関係について質問があり、福島財務総括部長から積み立ての活用と計画的な支出コントロールにより適正な収支とする旨の回答があった。

なお、当予算案については、助成金などの未確定要素を見込んだ当初予算案として議決し、その後確定した収入も加えて改めて調整した修正当初予算と合わせて総会で報告することが確認された。久保理事や近藤理事から修正当初予算確定までのプロセスについて質問があり福島財務総括部長から適宜連携をとりながら進める旨回答があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

- ⑤ 第五号議案 京王観光とのトラベルパートナーシップ契約の締結の件
坂本事務局長から、令和7年度のトラベルパートナーシップ契約について相見積もりの結果、京王観光と契約を締結する案としたこと、主なポイントとしては年間協賛の他に日本代表事務局代行業務、各種保険の事務局業務サポートが契約に含まれるなどの説明があった。
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ⑥ 第六号議案 AMOS社とのスポンサーシップ契約の締結の件
多氣理事から、中国の菓子製造企業のAMOS社とのスポンサーシップ契約の内容や期間など現在の交渉状況について、配付された資料に基づき説明があった。
福島理事、西田理事他から独占的事業範囲について質問があり、他社との関係を確認し対応することとされた。
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ⑦ 第七号議案 利益相反取引の件
坂本事務局長から、2件の利益相反取引について配付された資料に基づき説明があった。
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ⑧ 第八号議案 特定費用準備資金の件
福島財務総括部長から、令和6年度に発生する見込みの剰余金を特定費用準備資金として積み立てることについて、配付された資料に基づき説明があった。
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

7. 協議事項

- ① パリ 2024 大会 AT0 ホテル発注に関する関係者処分（案）について
箸本法務・コンプライアンス部長から、パリ 2024 大会 AT0 ホテル発注に関する関係者処分（案）について、倫理規程違反行為として認めることは難しく、発注に関する再発防止ルールを決めることが求められるというコンプライアンス委員会の見解が説明された。
協議の結果、コンプライアンス委員会の案が了解され、今後、協会全体の再発防止策についてまとめ、理事会で報告されることとされた。

8. 報告事項

④ U-12 オールスター戦の実施 について高瀬 HF 未来部長から口頭で報告があった。また、③ JHA カンファレンスの事後アンケート結果について多氣専務理事から配付された資料の補足があった。

また、福島財務総括部長から、令和6年度収支見込の補足として Jude Menezes 氏の税金問題と、新たな競技者・競技役員登録管理システムについて報告があった。

その他の事項については、書面報告とされた。

【報告事項】（書面報告）

- ① 女子代表さくらジャパン Nations Cup の結果（永井強化育成本部長）
- ② 日本代表選考方法の改正（永井強化育成本部長）
- ③ JHA カンファレンスの事後アンケート結果（多氣専務理事）
- ⑤ 競技運営部組織改正（近藤事業本部長）
- ⑥ 令和7年度 JOC コーチ設置事業（永井強化育成本部長）
- ⑦ 強化育成本部組織図（永井強化育成本部長）

以上をもって議事の審議を終了し、議長は21時15分、閉会を宣言した。